

シグマ研究委員会核構造WGサブWG会合議事録

日 時 昭和55年11月25日(火) 13:30～

26日(水) 17:30

場 所 原研東海研究所 研2-322

出席者 大矢, 宮野(新潟大), 橋爪, 天道(理研), 神戸(東工大)

喜多尾(放医研), 松本, 大島, 田村(原研)

議 事

1. A = 126 の経過

前回の会合で出たいくつかの問題点を修正して, ORNL へ提出した。

2. A = 125 のレフェリー結果

A = 127 と同時に提出してあった A = 125 のレフェリー結果が送られてきたので, その問題点の修正をはじめた。

3. A = 128 の評価

In, I, Xe, Cs, Ba については個々のファイルができています。I では (n, γ) 反応によるデータがほとんどである。(p, n, γ) 反応によるデータとつきあわせて, (n, γ) のレベルスキームも再検討を行っている。次回より Adopted levels, gammas に移行できる見通である。

Sn, Te については, 崩壊データについて GTOL, LOGFT などのプログラムを通してのいる。

評価の完了の目標を3月末に設定した。

4. A = 129 の評価

全般に個別ファイルがほぼできています。Adopted levels, gammas は一部手をつけた程度で, 3月末完成を目標としている。

5. A = 124 の評価

A = 124 の旧 ENSDF をカード化し, 崩壊データについて HSI CC, GTOL を通した。In, Sn については全く新しいデータを採用することになる。また, Te に関しては, きわめて精度のよいデータがあるので, 旧ファイルに組入れる必要がある。